

つえ

杖を使用することで、歩行時の安定性が高まり、事故防止にもつながります。

使用頻度や見た目など、ご利用者のニーズに合わせて、最適な一本を選びましょう。

材質と選び方

- 杖の本体の材質によって重量が変わっていきます。
- 軽** **カーボンファイバー** **アルミ** **スチール** **重**
- 極めて軽量
 - 強度がある
 - 高価
 - 軽量
 - 加工しやすい
 - 強度がある
 - 重い
 - 加工しやすい
 - 安価
- 握り部(グリップ)にも種類がございます。一般的に多く使用されているのが天然木のものになります。その他には、加工性に優れたアクリル製のものや、滑りにくく、手に掛かる圧力を吸収し、掌の痛みを軽減してくれる発泡(スポンジ)素材のものもございます。但し、スポンジは使用していくうちに摩耗していきます。

ポイント

杖の握り方



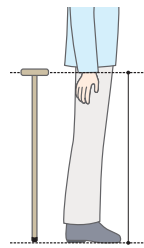
人差し指と中指で杖の支柱をしっかりと挟み込んでください。



杖の持ち手の手前だけを握ってしまうと、体重がうまくかけられずに、転倒の原因にもなります。

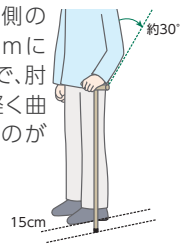
つえの長さの選び方

- 選び方1**
腕をまっすぐ下におろし、床から手首までの高さに持ち手がくる長さ。
- 選び方2**
床から大転子(腰骨下の出っ張り)までの高さに持ち手がくる長さ。



つえの理想の持ち方

杖の先を同側の足外側15cmにおいた状態で、肘は30°ほど軽く曲がっているのが適当です。



杖の長さを簡単に求められる計算式として、右記の式がよく使われています。

身長÷2+2~3cm

例えば $160\text{cm} \div 2 + 2 \sim 3\text{cm} = 82 \sim 83\text{cm}$ となります。

※あくまでも目安ですので、実際に歩いてみて、長さをお選び下さい。

日常時の点検

杖の先に付いている「先ゴム」ですが、こちらは、**滑り止めの役割**をしています。歩行時に地面に接地するため、使い続けているとゴムがすり減ってきます。摩耗した状態で使用すると接地面が安定せず、ぐらぐらしてしまい転倒の原因になります。雨の日は特に滑りやすく危険ですので、ご使用前に一度点検し、溝がすり減っていれば交換して下さい。



1 まごころステッキ

- 9791** ベーシック **9792** スリム **1,848円**(税抜1,680円)

はじめての杖におすすめ! 好みに合わせて選べる豊富なラインナップ

●汗をかくても滑りにくいグリップで安心。

NEW



ベーシック
グリップの根元にくびれがなくシンプルで誰にでも使いやすい。男性や手が大きい方におすすめ!

スリム
グリップの根元にくびれがあります。握力の弱い方や手の小さな方でもしっかり握れる。



●重量/ベーシック=340g、スリム=310g
●材質/本体=アルミ、グリップ=(ベーシック)ABS、TPR、PP (スリム)ABS、TPR

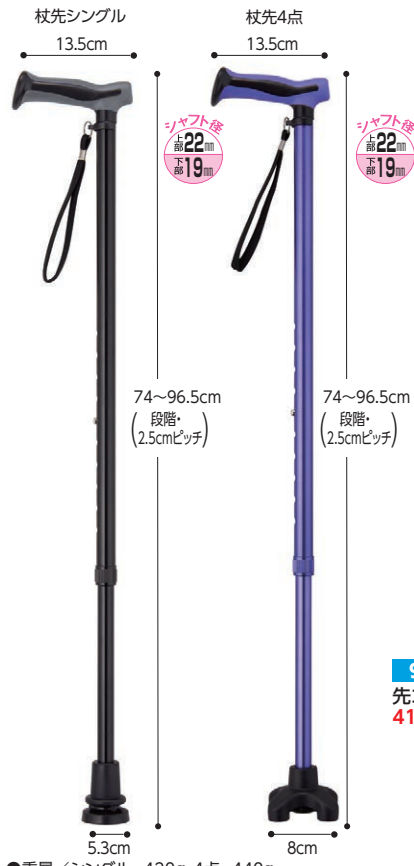
2 まごころステッキあんしん

- 9793** 杖先シングル **9794** 杖先4点 **2,728円**(税抜2,480円)

しっかり握れて、体重を支える幅広グリップで安心感アップ

●手首に負担をかけたくない方におすすめ。

NEW



広い接触面で手のひらにかかる力を分散。長時間の使用も手が疲れにくい。



●重量/シングル=420g、4点=440g
●材質/本体=アルミ、グリップ=ABS、TPR

ウェルファン